

初級障がい者スポーツ指導員 カリキュラム

領域	基準カリキュラム	時間	内 容（指導者制度で定められている内容）	参 考（カリキュラムのポイント・キーワードなど） ※障がい者スポーツ指導教本の内容を抜粋 カリキュラム読替の参考にしてください。
講義	障がい者福祉施策と障がい者スポーツ	2	障がい者福祉施策の体系、サービス体系、今後の動向と障がい者スポーツとの関連性を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施策の変遷 ・各障害に関係する法律(身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法 障害者自立支援法、障害者総合支援法 など) ・障がい者の生活と実態 ・日本の障がい者数、障害者福祉サービス ・障がい者福祉施策と障がい者スポーツの関わり
	ボランティア論	2	ボランティア精神と活動の基本的姿勢を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとは ・ボランティアの魅力 ・心得と注意点
	障がい者スポーツの意義と理念	2	障がい者のスポーツの捉え方やその意義、効果を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的、精神的、社会的意義や効果
	安全管理	1	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全配慮義務 ・リスクマネジメント
	障がいの理解とスポーツ	5	各障がいの主な特性を学び、その特性に配慮しながら安全にスポーツを実施させるために必要な最小限の知識を身に付ける。 ◇ 身体障がい(内部障がいを含む) 2時間以上 ◇ 知的障がい 2時間以上 ◇ 精神障がい 1時間以上	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの分類 ◇ 身体障がい <ul style="list-style-type: none"> ① 肢体不自由(切断・欠損、脊髄損傷、脳性麻痺、脳血管障がい、頭部外傷 など) ② 視覚障害、③ 聴覚障害、④ 内部障がい ◇ 知的障がい(発達障がいを含む) ◇ 精神障がい(統合失調症、うつ病 など) ・障がいの原因となる疾患 ・スポーツを行う際の注意点
	(公財)日本障がい者スポーツ協会 公認障がい者スポーツ指導者制度	1	日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度の障がい者スポーツ指導員の役割や組織について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者制度の目的 ・資格の種類と役割 ・指導者資格の取得方法 ・資格取得後の活動 ・地域における障がい者スポーツ団体の役割、活動
全国障害者スポーツ大会の概要	1	全国障害者スポーツ大会の開催目的や実施競技、一般競技とは異なる点などの概要を学ぶとともに、大会がスポーツ未経験者や初心者のスポーツ参加の大きな動機づけになっていることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催の目的 ・競技規則の原則 ・実施競技の概要 	
実技 実習	障がいに応じたスポーツの工夫・実施	2	障がいのある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむためには、既存のルールや用具をどのように工夫したらよいかを実技を通して学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者は誰か(障がいの種類や程度、他の障がい者や健常者と一緒か など) ・実施場所(環境)、用具、ルールの工夫 など ※既存のスポーツの体験や実習ではありません。
	障がい者との交流	2	スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞く。または、スポーツ活動現場に出かけ障がい者とのふれあいを体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをしている障がい当事者の話を聞く ・大会や教室の補助、一緒にスポーツを楽しむ ・スポーツセンター見学、施設実習 など
総時間	1時間=60分としてカウント	18		